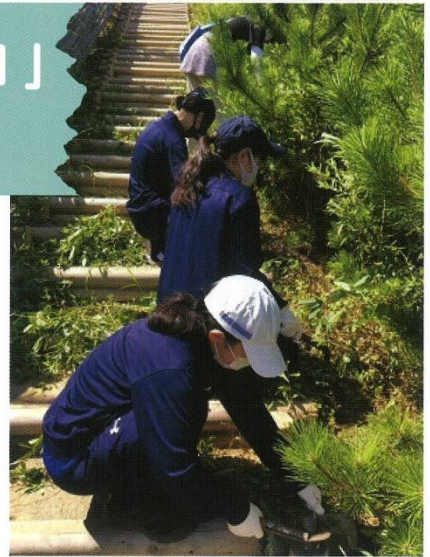




「高校生ボランティア・アワード2021」 で鎌田賞を受賞！！



2015年4月から活動がスタートした、浜松市の中田島砂丘と松の保全活動を行う「浜と松プロジェクト」で、今年も「高校生ボランティア・アワード2021」にエントリーしました。

高校生ボランティア・アワードとは、歌手のさだまさしさんが設立者でもあり理事でもある「公益財団法人 風に立つライオン基金」が創設したもので、日々地道な奉仕活動を実践する高校生の「発表・交流の場」となっています。互いの活動に対する理解を深め、連携し、助け合って切磋琢磨するために全国の高校生たちがエントリーしています。



今年全国から113校のエントリーがあり、その中から事前審査で16校が選抜されました。オイスカ高校の「浜と松プロジェクト」もその中に選ばれ、8月17日(火)に、Webによる発表大会に参加しました。代表者2名が、8分間の発表と質疑応答を行いました。活動内容をより分かりやすく伝えようと、たくさんの小道具を用意して頑張って発表してくれました。質疑応答には、応援団として、併設するオイスカ開発教育専門学校の学生さんと、女子バレー部のメンバーも駆けつけてくれました。



みんなでコツコツと育ててきた活動を、多くの皆さんの前でしっかりと発表できました。

そしてなんと、このあとの特別表彰で、「鎌田賞」をいただきました!!! 鎌田先生は、この大会のオブザーバーを務められており、当法人評議員であり諏訪中央病院の名誉院長でいらっしゃいます。諏訪中央病院では地域包括ケアの先駆けを作られ、チェルノブイリ、イラクへの国際医療支援、全国被災地支援にも注力されてこられた方です。



発表者の一人である松本さん(2年)よりコメントをもらいました。

「活動を支援、サポートをしてくださる先生方や、市民団体の皆様、先輩方のおかげでいただくことができた賞だと思います。長年かけて継続してきた沢山の努力が積み重なり、偉大なる鎌田先生より賞を頂くことができ、本当に嬉しいです。これからも引き続き、浜と松プロジェクトや、そのほかのボランティア活動にも、できる限り参加していきたいと思っています。ありがとうございました。」

